

富山経済同友会

会報

2022.11月
No.310



第6回教育問題委員会（津軽藩ねぶた村）（9月29日）

CONTENTS

- 10月会員定例会 2
- 第30回経済同友会中央日本地区会議 2
- 第11回地域創生委員会 3
- 第2回委員長連絡会議 3
- 交流委員会（第2回、第3回） 4
- 第1回企画委員会 4
- ごきげんよう職場訪問（企業経営委員会）... 5
- 第7回文化スポーツ委員会（黒部ダム等視察）... 6
- 副業兼業人材活用セミナー（人財活躍委員会）... 7
- スケッチオーデション（人財活躍委員会）... 8
- 第6回教育問題委員会（青森・大阪視察）... 10
- 地域創生委員会（第12回、第13回：フィールドワーク）... 12
- 第9回企業経営委員会 16
- トピックス（フィールドワーク冊子、大学で活用）... 16
- 第83回あけぼの会ゴルフコンペ 17
- 「同友会の日」カターレ富山戦 17
- 課外授業講師派遣 18
- 教育講演会等講師派遣 20
- リレーエッセイ⑩（森 弘吉 氏） 21
- 活動報告 22
- 会員の入退会 24
- トピックス（富山大学データサイエンス寄附講座）... 26
- 慶事のお知らせ 27
- 今後の予定 27
- 事務所からのお知らせ 27
- わが青春の1枚（川合 声一 氏） 28

SDGs



富山の人口問題の鍵を握るのは企業経営者！ 天野馨南子氏講演 — 10月会員定例会 —

10月会員定例会が10月18日(火)、ホテルニューオータニ高岡で開催され、株式会社ニッセイ基礎研究所 人口動態シニアリサーチャーの天野馨南子氏が「データで読み解く『富山の人口問題』～なぜ企業経営者が鍵を握るのか～」と題して講演を行った。今回は教育問題委員会（高瀬幸忠委員長）が主管し、会員約140名（オンライン視聴含む）が参加した。

最初に天野氏は、統計データを用いて、富山の出生数が加速度的に減少している現状を説明したうえで、「夫婦が子どもを持たなくなったので人口減少している」というアンコンシャスバイアスがあるが、むしろ、富山の夫婦当たりの子どもの数は微増しており、人口減少の主因は若い女性が就職を機に富山からいなくなることにあると語った。

そして、今の未婚の若者、特に男性においては、正社員の共働きを夫婦の理想像とする者が

急増し、家族観に大きな意識変化が起こっていることを指摘し、専業主婦世帯を想定した古い家族観で少子化対策を行うことに疑問を呈した。

最後に、若い女性の就職による県外転出をメインテーマにしなければ、富山の人口に未来はなく、若い女性に選ばれるよう企業経営者が働き方を変えていかなければならない。富山の少子化対策の鍵を握るのは企業経営者の皆さんだと参加者に熱いメッセージを送り講演を締めくくった。

（講演録は、次号2023.1月会報に掲載）



SDGs



ウェルビーイング社会を創出していこう！ ～ あわら市で中央日本地区会議 ～

10月3日(月)にあわら市において第30回経済同友会中央日本地区会議が開催された。

今回は「ウェルビーイング社会の実現に向けて」を総合テーマに中部地区8つの経済同友会から86名が参加者し、当会からは麦野英順・塩井保彦・牧田和樹代表幹事、桶屋泰三・大橋聡司・高林幸裕副代表幹事、中沖雄常任幹事が出席した。

冒頭、開会挨拶を福井経済同友会の林正博代表幹事が行った。続いて福井県立大学・地域経済研究所の高野翔准教授が「ウェルビーイングを起点にした地域づくり」と題し、基調講演を行った。高野氏は「ウェルビーイングとは身体的にも、精神的にも、そして社会的にも、すべてが満たされた状態」を意味し、幸せを感じる



講師 高野 翔 氏

ためには社会との良好な状態、すなわち“社会的つながり”が重要であると解説した。そのため、街づくり、地域づくりに必要なことは、自分が自分らしく安心できる「居場所」と潜在能力や可能性を開花させる「舞台」を作っていくことが必要だと力説した。

その後各地同友会の発表が行われ、当会からは麦野代表幹事が提言活動、フィールドワーク・観光ガイドブックの作成、スケッチオーデション、海外経済視察の実施などを紹介した。質疑応答の後、福井経済同友会の清川肇代表幹事が閉会の挨拶を行った。懇親会も開催された。



麦野代表幹事

魅力あるアリーナのキーワードは「プロフィット化」「観せる施設」

～ 第11回地域創生委員会 ～

9月6日(火)、ホテルグランテラス富山において第11回地域創生委員会（山本覚委員長）を開催し、委員ら63名が参加した。今回は、沖縄市企画部長兼プロジェクト推進室長の山内強氏より「1万人規模のアリーナ整備事業とプロフィット化に向けた取り組み」と題し講演いただいた。



山本委員長

山内氏ははじめに、沖縄市の現状として①スポーツ合宿受入れや各種大会の誘致が増加傾向にあること、②中心市街地空洞化の進行への対応や観光誘客、などがまちづくりの課題であったとした上で、現市長は初当選時（2014年）の公約に“1万人規模のアリーナ整備”を盛り込み、整備に向けた調査・検討や地域との合意形成に粘り強く取り組んできたこと、地元プロバスケットボールチーム：琉球ゴールデンキングスとの連携を契機にアリーナの“プロフィット化（収益を生み出す施設づくり）”を整備目的としてきたことから、整備に厳しい見方であった世論が変化し始めたことなどを紹介し「琉球ゴールデンキングスとの連携が、整備推進はもとよりアリーナの新たな可



山内強氏

能性を引き出した」と、アリーナ建設の経緯と整備の意義を強調した。

次に、2021年に整備・開業した沖縄アリーナの概要として「未来を創り、地域を活性化するアリーナ」をメインコンセプトとし“観せる”、“使いやすい”、“1万人規模の”施設を基本方針としたこと、設計段階から施工者が持つ技術力を設計に反映させコスト縮減や工期短縮を図る「ECI方式」を導入したことを紹介した。また、特徴ある外観やVIPルーム・ラウンジ等の設置や観客席レイアウトだけでなく、設営に要する労力縮減を想定した車両進入路の設置などを紹介し「プロフィット化には、バスケットボールだけでなくコンサートやMICEなどへの対応も必要。施工者や施設利用者など様々な知恵を結集させることが重要である」と述べた。

最後に「行政だけで考えているこのような施設とはならない。官民連携により地域活性化を実現するためには、行政が事業者との“通訳”的な役割を果たすとともに、民間事業者には、まずは公共事業を自分の事業として捉えてもらうことが必要である」と訴え、講演を締めくくった。

委員からは「公共施設としての防災機能の考え方」「施設の管理・運営の考え方・運営状況」など活発に質問・意見が出され、スポーツを活かしたまちづくり・地域活性化について知見を深める充実した委員会となった。

委員会間のシナジー創出に向けて

～ 第2回委員長連絡会議 ～

9月8日(木)、第2回委員長連絡会議（高林幸裕企画委員長）を開催し、委員長6名が参加した。同連絡会議は委員長相互の情報共有・連携・啓発を目的に、四半期に1回開催するものであり、今回は2回目の会議となった。

高林委員長の挨拶の後、各委員長から情報共有がなされた。各委員会の進捗や課題のほか、提言の方向性や他経済同友会との連携状況等について活発な意見交換がなされ、質の高い委員

会活動へ向けた気づきを得られる貴重な機会となった。

終盤は、視察をはじめとする委員会活動における今後のコロナ対策について忌憚のない議論が交わされた。



視察時のコロナ対策ガイドライン策定 ～ 第2・3回交流委員会～

9月9日(金)、第2回交流委員会(中沖雄委員長)を事務局で開催し、委員11名と大橋聡司アドバイザーが参加した。

第40回海外経済視察期間中に新型コロナの感染者がでたことから、今後の海外視察と宿泊を伴う国内視察等に際して当会の新型コロナ感染防止策ガイドラインを策定することになり、意見交換を行った。



中沖委員長

次回以降の海外視察では、コロナ対策として①PCR検査の実施・報告、②視察行程における日々の体調チェックと報告、③団長及び事務局からの指示遵守を参加者に求めることを基本とし、開催時期の感染状況や政府・自治体のガイドラインを踏まえて、適正な独自のガイドラインを都度策定することにした。

また、国内視察等のコロナ対策については、富山アラートの期間中であることから、参加者に検温、消毒、マスク着用その他、出発時にPCR

検査結果通知書もしくは抗原検査結果通知書の提出を求めることにした(委員会後、常任幹事会に諮り9月16日から実施)。

その後9月27日(火)に富山アラートが解除、翌日以降富山県の行動制限がなくなったことから、9月28日(水)に第3回委員会をオンラインで開催(委員11名と大橋アドバイザーが参加)。国内視察等のガイドラインをPCR検査結果通知書や抗原検査結果通知書の提出を求めないことに改定することとした(委員会後、常任幹事会に諮り10月6日から実施)。



次年度以降の委員会再編を検討 ～ 第1回企画委員会～

10月19日(水)、第1回企画委員会(高林幸裕委員長)を日本料理俵屋(アーバンプレイス14F)で開催し、委員6名が参加した。冒頭、高林委員長が挨拶を行ったのち、次年度以降の委員会の再編の方向性と再編案について説明した。

委員長は「現行委員会の枠組みはSDGs宣言(60周年記念式典)と呼応する形で編成されたものであり、これを維持していくとともに、現状の課題を踏まえ、さらに充実を図る観点で再編案を策定していく」と基本的な



高林委員長



考え方を委員に示した。

そのうえで、具体的に対処すべき課題を挙げ、再編案を委員に説明した。その後、質疑応答となり、各委員との活発な意見交換が行われた。



ものづくりからリサイクルまで

— 第11回ごきげんよう職場訪問 —

企業経営委員会（伊勢徹委員長）は、9月14日(水)に第11回ごきげんよう職場訪問を開催し、委員21名が参加した。

一行は最初に、(株)能作を訪問。能作千春専務から会社概要の説明を受けた。同社は、仏具、茶道具、花器を製造してきたが、もっと身近な製品、デザイン性の高い製品をつくり



能作千春専務

たいと、2000年頃から商品開発と販路開拓を開始。世界で誰もやったことのないチャレンジを



しようと始めたのが100%錫による製品開発。2008年に開発した曲がる食器「KAGO」がヒットアイテムとなり、現在は、錫製品による売上げが全体の約8割を占めているとのこと。

その後、真鍮製品と錫製品の生産現場を見学した。同社の社員は75%が女性。若い女性社員が現場で活躍している姿が印象的であった。

次に、日本総合リサイクル(株)を訪問した。はじめに、高倉社長による会社概要の説明を受けた。同社は創業10年目。県内に金属リサイクル会社は何社もあるが、他社がやってい



高倉康氏社長

ない鉄道車両のリサイクルをやりたい、との社長の思いから同社はスタートした。現在は、鉄スクラップの処理、小型家電の処理、バスの解体・中古車販売の3つを主力とし、鉄道車両の解体も行っている。

その後金瀬工場長の説明の下、工場を見学した。まずは、重機によりバスが解体される現場を見学した。屋内での作業となるため、作業環

境改善に資するよう、解体に用いる重機は排気ガスが出ない電動の重機を用いているとのこと。



続いて小型家電が大型の破砕機により細かく破砕され、その後機械によって、鉄、ステンレス、銅、アルミ、プラスチックなど、素材ごとに選別されていく現場を見学した。

最後に、BBS ジャパン(株)を訪れた。北社長と室田管理本部長の挨拶の後、竹内総務部長から会社概要の説明を受けた。ホイールは大きく分けて鋳造と鍛造の2種類の製造法があるが、



北秀孝社長

同社が取り組む鍛造は世界で1%に満たない。同社は、軽さ・強さ・美しさの3点にこだわり、その1%に満たないニッチな分野でビジネスをしている。車はEV化により15%~20%車重が重くなるので、まだまだ同社のビジネスチャンスはたくさんあると見ているとのこと。

続いて、ホイールの製造現場を見学した。円柱形のアルミニウムの塊が、高さ12m・地下8mの大きさの12,000t大型油圧密閉プレス機（ホイール鍛造用としては日本最大）でプレスされ、美しいホイールの形へと形成される様子などを見学した。

どの視察先でも、会員から多くの質問が寄せられ、大変充実した視察となった。



立山連峰・黒部ダムを視察

～ 第7回文化スポーツ委員会 ～

今年度の文化スポーツ委員会(島田好美委員長)は立山の雄大な自然や立山観光の歴史を学ぶことを活動テーマにしており、9月25日(日)～26日(月)に第7回委員会を開催し、糸魚川フォッサマグナミュージアム、黒部ダム、弥陀ヶ原などを視察、委員ら17名が参加した。



島田委員長

1日目はまず糸魚川フォッサマグナミュージアムを見学。同館は地球や日本列島の生い立ちを分かりやすく展示した石の博物館で竹之内耕館長にフォッサマグナについて



竹之内耕館長

解説いただいた。フォッサマグナは1,600万年前、日本列島がアジア大陸から離れる時にできた大地の裂け目であり、糸魚川-静岡



フォッサマグナミュージアム

岡構造線は、日本列島を東北日本と西南日本の真っ二つに分ける断層の西側の境界断層だと説明。また、1967年に発刊された吉村昭の長編ノンフィクション小説「高熱隧道」を紹介し、樺平あたりのトンネルを掘削する際、熱い岩盤があったと記されているのは飛騨山脈直下に存在するマグマであると説明した。

その後、宿泊先のホテル(ANA ホリデイ・インリゾート 信濃大町くろよん)に移動し、元関西電力(株)黒部川電力システムセンター所長の米沢出穂氏に「世紀の大工事クロヨン建設 その歴史」と題して講演いただいた。



講師 米沢 出穂氏

米沢氏は黒部ダムの高さは186mで日本一、戦後日本の電力不足を補うために昭和31年から

7年の歳月と513億円の工費をかけ完成したアーチ式ダムであると説明。黒四ダムと通称されるのは、黒部川第四発電所という発電所の名前からきているとし、大町とダムサイトを結ぶトンネル工事には、延べ1千万人の人手がかかり、特に破碎帯と呼ばれる湧水の湧き出し地帯は超難関工事で、80メートルの距離を現場作業員が諦めず困難に立ち向かい、7か月かけて突破したと熱く語った。さらにクロヨン建設は171名の尊い犠牲により完成したことを忘れてはならないと解説した。

2日目は実際に黒部ダムを見学。殉職者慰霊碑に手を合わせ、立山連峰を背景に迫力ある観光放水と緑の水をたたえる黒部湖を見学。その雄大かつ壮大な景観を目の当たりにし、改めて工事作業員の苦勞に思いを馳せた。その後、黒部湖発のケーブルカー、ロープウェイと乗り継ぎ大観峰に到着。展望台では360℃の迫力ある大パノラマに感動。次に電気トロリーバスで室堂へ、さらにバスで弥陀ヶ原ホテルへ向かい昼食後、同ホテルの板澤正司副支配人のガイドで弥陀ヶ原周辺を散策した。弥陀ヶ原は日本国内で最も標高の高い所にあるラムサール条約に登録される湿地で、眼下に広がる広大湿地帯の眺望、青空と白い雲に雄々しく映える大日岳を拝んだ。



二日間にわたり天候に恵まれ、立山の雄大な自然と先人が命懸けで作った黒部ダムの歴史とスケールの大きさに感動した有意義な視察となった。

二日間にわたり天候に恵まれ、立山の雄大な自然と先人が命懸けで作った黒部ダムの歴史とスケールの大きさに感動した有意義な視察となった。





外部人材活用で社内を活性化

～ 副業・兼業人材の活用推進セミナー～

人財活躍委員会(浅林孝志委員長)は9月29日(木)に副業・兼業人材の活用推進セミナーを開催し、会員64名および会員企業15社の人事担当者らが参加した。

最初に、副業・兼業人材を活用する意義やポイントについて、(株)みらいワークス執行役員高橋寛氏にご講演いただいた。



高橋氏はまず、副業・兼業人材といったプロフェッショナル人材を活用する意義は、「社内には存在しない、知見・経験を獲得でき、経営課題を解決できること」だと訴えた。



高橋 寛 氏

次に、大企業を中心に自社外での副業・兼業が解禁されており、ニーズが高まっていると説明。また、そういった人材の中で、地方で活躍する機運が高まっており、その背景として「副収入」だけが目的ではなく、「やりがい」「成長の機会」「地方貢献」といった点を求めている傾向があると説明した。

最後に、活用することの具体的なメリットは、「優秀な人材が、安価に調達可能」「実業・実務経験がある人材が、



スキルマッチによりピンポイントで支援可能」「まずはお試しで活用でき、採用リスクの低減が可能」であるとし、地方企業での活用事例を紹介し、講演を締めくくった。

続いて、県内企業の好事例紹介として、日の出屋製菓産業(株) 代表取締役専務 川合洋平氏、三耐保温(株) 土居りょう子氏から自社における

副業・兼業人材の活用事例の紹介がなされた。

川合氏は海外販路開拓支援やルート営業効率化支援において活用した事例を紹介したうえで、社内人材のノウハウだけで昨今のマーケットの大きな変化に対応していくことは難



川合 洋平 氏

しいため「外部人材」の専門的なノウハウを必要に応じて活用することが有用であると訴えた。

土居氏からは、見積作成の工数削減をはじめとする社内のDX化における事例の紹介があったほか、「アイデアをもらえるだけではなく手も動かしてもらえ」といった活用の



土居 りょう子 氏

メリットや「自社の状況について共通認識をはかることの難しさ」といった課題点についても言及があった。

最後に、富山県の副業・兼業推進に向けた取り組みについて、富山県商工労働部 労働政策課 雇用推進班 山口祐輔氏から説明がなされた。

山口氏は、富山県の人口動態について言及し、関係人口の創出に向けて副業・兼業推進を行っていることと取り組みの意義を説明した。また、今年度で開催予定である、県内企業と副業・



山口 祐輔 氏

兼業人材とのオンライン交流会について紹介がなされた。

その後も活発な質疑応答が行われ、セミナーは盛会のうちに終了した。





起業家精神の高揚

～ スケッチオーデション2022開幕～

●スケッチオーデションとは・・・

富山経済同友会（人財活躍委員会）、とやま未来共創チーム、富山ニュービジネス協議会、富山大学が共催する地域人材の育成・発掘を主目的としたビジネスプランコンテスト。

最大の特徴はコンテスト本番ではなく、新たな事業を志す参加者とメンターによる「学び合い、支え合う」過程を重視している点であり、2023年3月19日(日)の決勝大会に向けてビジネスプランの考え方のインプットとアイデアをブラッシュアップする過程が設けられている。

プログラムの総合プロデューサーを富田欣和氏（関西学院大学 専門職大学院経営戦略研究科 教授）、メンター担当講師を渡辺今日子氏（慶應義塾大学大学院 システムデザイン・マネジメント研究科 特任助教）が務めるほか、今年度は毎回、ゲスト講師による特別講演が開催される予定である。

参加者とメンターを募集したところ、今回は総勢81名（参加者66名、メンター15名）と過去最多の申込みがあった。

■次回以降のスケジュール（1月まで） ※3月のDay 8まで実施

回数	日時	会場
Day 1	2022/10/22(土) 13 - 17 時	富山大学五福キャンパス 共通教育棟 D21 番教室、D22 番教室
Day 2	2022/11/12(土) 13 - 17 時	富山大学五福キャンパス 共通教育棟 D21 番教室、D22 番教室
Day 3	2022/11/26(土) 13 - 17 時	富山大学五福キャンパス 経済学部棟 101 教室、108 教室
Day 4	2022/12/10(土) 13 - 17 時	富山大学五福キャンパス 共通教育棟 D21 番教室、D22 番教室
Day 5	2023/1/21(土) 13 - 17 時	富山大学五福キャンパス 経済学部棟 101 教室、108 教室

● Day 0〔10月8日(土)〕

今年度は開催に先立ち、プレイベント(Day 0)が開催され、当会会員のほか、スケッチオーデションへの挑戦を迷っている参加者に向けて特別講演が行われた。

講師として伊藤羊一氏*(Zホールディングス株式会社 Zアカデミア 学長)を招き、『まずは一歩踏みだそう～社会を変革するアントレプレナーシップ～』と題し講演がなされた。

伊藤氏はまず、現在のデジタル時代について

言及。テクノロジーの発展を背景に、世界はどんどん変わり、様々なことが自由にできるようになったと説明し、「自分たちで問いをたて、話し、決めて、ビジネスを創っていく世界」即ち、「自分の仕事を徹底的に自分でリードできる」と参加者に伝えた。



参加者に熱く語りかける伊藤氏

またそのためには、自分自身を知り、譲れない想い(信念/使命感)を持つことが大切であり、過去を振り返ってみることがポイントであると、自身の経験を交えながら参加者に語った。

最後に、未来を描くことも大切だが、未来は現在の積み重ねでしかないため、変えたいなら今の行動を変えるしかない述べ、「未来を予測するものではなく、創るもの。あなたはどのような未来を創りたいですか?」と参加者に熱く語りかけ、講演を締めくくった。

その後は、活発な質疑応答のほか、富田欣和

氏、村上宏康副委員長らを交えたパネルディスカッションも開催され、プレイベントは盛会のうちに終了した。



パネルディスカッション

— ※ 伊藤 羊一氏 プロフィール —

日本興業銀行、プラスを経て2015年よりヤフー。現在Zアカデミア学長としてZホールディングス全体の次世代リーダー開発を行う。またウェイウェイ代表、グロービス経営大学院客員教授としてもリーダー開発に注力する。2021年4月に武蔵野大学アントレプレナーシップ学部（武蔵野 EMC）の学部長に就任。代表作に56万部超ベストセラー「1分で話せ」ほか、「1行書くだけ日記」「FREE, FLAT, FUN」など。

● Day 1 [10月22日(土)]

開講初日となるDay 1は富山大学五福キャンパス内で開催された。

まずこの日の特別ゲストとして橋口寛氏*（株式会社ユーフォリア代表取締役）が登壇。橋口氏はまず、自身の経験を振り返ったうえで、これまでの歩みから得た学びとして、「人生はどれだけ計画してもどう転ぶかは分からない」「結局のところ出会いが人生を決める」という点を一同に伝えた。



橋口 寛 氏

自身の事業について紹介したのち、参加者へのメッセージを何点か紹介。なかでも徳富蘆花の「新しいものは常に謀反である」という言葉について触れた際、批判・嘲笑・抑圧・無視はデフォルトであり、ハナから理解されることを期待しない方が良く語り、「みなさんが素晴らしい仲間と出会い、自分にしか解けない課題を見つけ、素晴らしい謀反を企まれることを願っています」と伝え講演を締めくくった。

特別講演の後は、富田氏による講義を実施。富田氏はまず、多様性はイノベーションの価値を高め、自分たちのビジネスの結果をより良くすると説いたうえで、今回のスケッチオーデションで個人のビジネスプランを検討する際にも、他の参加者、メンターとのチームビルディング、「仲間づくり」が必要であると訴えた。



富田 欣和 氏

次に課題発見力が極めて重要である点について説明。ビジネスプランや物事を考える際には、いきなり解決策やアイデア勝負をするのではなく、まず質の高い「課題」を選定することが何

よりも重要であると説き、普通の課題から質の高い答えを導くのではなく、質の高い課題を普通に解くことで、質の高い答えが生まれると訴えた。

続いて課題の種類について言及。大きく分けると「誰かの痛みを和らげる」または「誰かの喜びを増やす」という2種類があると説明し、どちらに関心があるかで、行く末が大きく変わるため、自分の関心を知っておくことが重要であるとレクチャーした。

課題のシリアス具合（総量）で解決した時の価値の総量が決まり、ひいては収益の総量も変わると説き、「最高の課題発見者になろう」と語り、Day 1の講義を終えた。

またメンターには別室にて、渡辺氏からメンタリング概論の講義がなされた。渡辺氏からはメンターの役割は、「アウトプットに導くアドバイスをすることではなく、参加者自らがより良いアウトプットを生み出せるよう成長を支援すること」であるとの説明があり、メンタリングにおける基本的なマインドや考え方がレクチャーされた。



渡辺 今日子 氏



学び合う一同

※ 橋口 寛氏 プロフィール

早稲田大学教育学部卒業後、メルセデスベンツ日本法人にてメルセデスベンツ販売店ネットワークの経営改善業務に従事。その後、米国ダートマス大学 Tuck School へ留学し、MBA（経営学修士）取得。卒業後、アクセンチュア戦略グループに入社し、大手製造業・流通業に対する経営戦略策定実行支援に従事。

コンサルティング事務所を設立し独立。同時にプライベートエクイティファンドのアドバイザーとなり、消費財メーカーの常勤取締役としてターンアラウンドを行う。また、慶應義塾大学大学院システムデザインマネジメント (SDM) 研究科 特任講師として、Sports X Conference / Sports X Leaders Program を主宰する。2008年に株式会社ユーフォリアを創業。



キャリア教育・インターンシップの最前線を視察

～ 第6回教育問題委員会（青森・大阪視察）～

教育問題委員会（高瀬幸忠委員長）は第6回委員会として、9月29日(木)から10月1日(土)にかけて、「キャリア教育・インターンシップ最前線の視察」をテーマに、青森・大阪視察を実施し、委員6名と教員5名（小学校1名、中学校1名、高校2名、特別支援学校1名）が参加した。

【1日目：青森】

1日目は、弘前市のおしごと体験広場キッズハローワークと津軽藩ねぶた村を訪れた。

<おしごと体験広場キッズハローワーク>

おしごと体験広場キッズハローワークを運営する（特非）SEEDS NETWORKの大西晶子理事長より、キッズハローワークの活動内容についてご説明いただいた。

キッズハローワークは、子どもたちに職業体験プログラムを提供し、仕事の対価（仮想通貨）を与え、子どもたちは獲得した仮想通貨を消費して遊ぶという、就労から消費までのサイクルを経験させる事業。「子どもを育むことは、町を、地域を、未来を創ること」という理念の下に実施しており、職業体験に際しては、地域で実際にその職業を生業としている大人たちが直接子どもたちと接することで、子どもたちに、「働くこと」だけではなく、地域の魅力を知ってもらうことを目指しているとのこと。



大西晶子氏を囲んで

<津軽藩ねぶた村>

続いて、一行は津軽藩ねぶた村を訪れ、大型ねぶたの実物展示や津軽三味線の生演奏を鑑賞した。



【2日目：大阪（1日目）】

2日目は、関西経済同友会の事務局及び教育問題委員会、関西キャリア教育支援協議会の事務局である関西生産性本部、大阪府教育庁、大阪市教育委員会と懇談を行った。

<関西経済同友会事務局>

（一社）関西経済同友会事務局の常任幹事事務局長廣瀬茂夫氏より、同友会の組織や今年度の活動状況についてご説明いただいた。



廣瀬 茂夫 氏

提言の出しっぱなしではなく、提言の実行をフォローするための委員会を設置して活動していること、委員会活動においては、会員企業の社員が「スタッフ」として活動をサポートしていることなどが特徴的であった。

<関西経済同友会教育問題委員会>

令和2・3年度教育問題委員会及び令和4年度こどもの未来委員会委員長 堀晋一氏（三井物産(株)執行役員関西支社長）より、令和4年2月の提言『「学校任せ」から「社会全体で共創する」初等教育への転換』の内容及び、提言実行のために設置した「こどもの未来委員会」の活動内容をご説明いただいた。



堀 晋一 氏

提言『「学校任せ」から「社会全体で共創する」初等教育への転換』の内容及び、提言実行のために設置した「こどもの未来委員会」の活動内容をご説明いただいた。

学業だけではない「多様な経験を通じた能力開発」の場が初等教育段階では重要であり、教育現場任せではなく、教育現場と教育行政と企業が連携し、三位一体となって取り組んでいく必要があるとのこと。

<関西キャリア教育支援協議会（関西生産性本部）>

（公財）関西生産性本部専務理事・事務局長小宅誠司氏に関西キャリア教育支援協議会の活動内容をご説明いただいた。



小宅 誠司 氏

同協議会は、関西生産性本部、関西経済連合会、関西経済同友会、大阪商工会議所、大阪科学技術センター、連合大阪が協力し、大阪府・市との連携の下、小中高等学校におけるキャリア教育支援するために設立された。各組織が行っていた教育現場への社会人講師派遣、職場見学、職場体験などのキャリア教育支援活動を「情熱教室」と称して一本化し、教育現場が産業界・労働界に求めるニーズと、産業界・労働界が教育現場に提供できるシーズに合った支援・協力を行っているとのこと。

<大阪府教育庁／大阪市教育委員会>

大阪府教育庁（市町村教育室 主任指導主事 森山伸治氏）及び大阪市教育委員会（指導部初等・中学校教育担当 次席指導主事 坂田浩之氏）より、キャリア教育の取組みについてご説明いただいた。



森山 伸治 氏

コロナ禍で職場体験などの従来型のキャリア教育が実施できないため、企業をアドバイザーに起用した課題解決型授業やオンライン職場体験など新しい生活様式に応じたキャリア教育を実施しているとのこと。



坂田 浩之 氏

【3日目：大阪（2日目）】

3日目は、大阪科学技術館とあべのハルカスを訪れた。

<大阪科学技術館>

大阪科学技術館は、全国的にも珍しい科学・産業技術に特化した科学館で、企業や研究機関20社8団体が出展し、最新の科学技術を体験型の展示物で学ぶことができる施設。一行は子どもたちに混じって、様々な展示を見学した。



SDGsの展示を見学



大阪科学技術館前にて

<あべのハルカス>

あべのハルカスでは、ハルカス300（展望台）を訪れ、秋晴れの大阪の眺望を楽しんだ。



ハルカス 300 にて

3日間の視察では、キャリア教育の最前線に触れるとともに、参加した教員と親睦を深めることができ、大変有意義な視察となった。



今年は1泊2日！“富山の魅力再発見の旅”集大成 ～ 第12回・13回地域創生委員会「フィールドワーク」～

第12回・13回地域創生委員会(山本覚委員長)を10月4日(火)～5日(水)、14日(金)～15日(土)に開催し、委員計29名が出席した。

一昨年度の半日、昨年度の1日に続き、今年度は1泊2日に拡大し、6班に分かれて県内各地を巡った。今回もプランは委員から公募し、寄せられた27件の応募から選抜き実施した。

各班は「自然や文化に触れる・体験する」「豊かな“食”を楽しむ」「魅力ある観光スポット

を観る」などのテーマを通じ、地域の魅力や課題などを調査した。

参加者からは「雄大な自然や歴史・文化的魅力を見ることができた」や「行って見て、やってみて初めて楽しさが分かった」「参加された皆さんとの親睦を深めることができた」など、地域の魅力への気づき、会員同士の交流促進などの感想が多数寄せられるなど充実したフィールドワークとなった。

<フィールドワーク 実施行程>

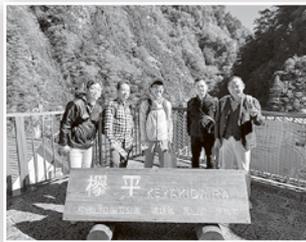
1 宇奈月温泉

【1日目】

富山駅 <北陸新幹線・富山地方鉄道> 電気記念館(宇奈月温泉駅前) <黒部峡谷鉄道・徒歩> 昼食・温泉入浴・散策：祖母谷温泉 <徒歩・黒部峡谷鉄道> 宿泊先(宇奈月温泉サン柳亭)

【2日目】

宿泊先 <徒歩・低速電気バス EMU 乗車> 温泉街散策：新山彦橋・セレネ美術館など <富山地方鉄道> 昼食：宇奈月麦酒館 <富山地方鉄道・北陸新幹線> ゴール(富山駅)



2 八尾

【1日目】

富山駅    〈高山本線・タクシー・徒歩〉 八尾おわら資料館  〈徒歩〉 福鶴酒造  〈徒歩〉
 昼食：手打ちそば高野  〈徒歩〉 諏訪町通り散策・曳山展示館・桂樹舎（紙漉き体験）  〈徒歩〉 夕食（にしの茶屋）  〈徒歩〉 宿泊先（八尾凧（NAGI））

【2日目】

朝食：越中八尾ベース「OYATSU」・宿泊先  〈徒歩〉 街並み散策   〈タクシー・高山本線〉 ゴール（富山駅）



3 五箇山

【1日目】

富山駅   〈あいの風とやま鉄道・加越能バス〉 相倉合掌集落散策・和紙漉き体験（五箇山和紙漉き体験館）  〈徒歩〉 昼食：お休み処「まつや」  〈徒歩〉 相倉民俗館・伝統産業館  〈徒歩：ハイキング〉 村上家住宅・三笑楽酒造  〈徒歩〉 宿泊先（五箇山温泉国民宿舎 五箇山荘）

【2日目】 ※終日、電動レンタサイクル「なんチャリ」で移動

宿泊先・羽場家住宅・念仏道場・お小夜塚・菅沼集落（五箇山民俗館・煙硝の館）・昼食：道の駅上平ささら館「五箇山旬菜工房いわな」   〈加越能バス・あいの風とやま鉄道〉 ゴール（富山駅）



4 大牧温泉

【1日目】

富山駅   〈あいの風とやま鉄道・加越能バス〉 → 瑞泉寺・井波の街並み散策  〈加越能バス〉
 昼食：鮎の里  〈徒歩〉 水記念公園   〈徒歩・加越能バス〉 小牧港  〈庄川遊覧船〉 大牧港
 〈徒歩〉 宿泊先（大牧温泉観光旅館）

【2日目】

宿泊先  〈徒歩〉 大牧港  〈庄川遊覧船〉 小牧港  〈加越能バス〉 昼食：大重亭  〈あいの風とやま鉄道〉 ゴール（富山駅）



5 立山：称名滝

【1日目】

電鉄富山駅    〈富山地方鉄道・立山ケーブルカー・立山高原バス〉 室堂駅・昼食：ホテル立山
 〈立山トンネルトロリーバス〉 大観峰：散策  〈立山トンネルトロリーバス〉 室堂駅  〈徒歩〉
 散策：室堂山・みどりが池・血の池・リンドウ池・エンマ台・みくりが池温泉など  〈立山高原バス〉 宿泊先（弥陀ヶ原ホテル）  〈徒歩〉 ホテル周辺散策（ガキの田広場など）

【2日目】

宿泊先  〈トレッキング〉（～弘法）   〈立山高原バス・立山ケーブルカー〉 立山駅  〈称名滝探勝バス〉
 昼食（レストハウス称名）・称名滝探勝   〈称名滝探勝バス・富山地方鉄道〉 ゴール（電鉄富山駅）



6 立山：黒部ダム ※第12回委員会(10/4～5)にて実施

【1日目】

宿泊先に集合(ANA ホリディ・インリゾート信濃大町くろよん)

【2日目】

宿泊先    〈路線バス・関電トンネル電気バス・徒歩〉 黒部ダム   〈徒歩・遊覧船〉 昼食：
 黒部ダムレストハウス・展望台  〈徒歩〉 黒部ダム   〈黒部ケーブルカー・立山ロープウェイ〉
 大観峰    〈立山トンネルトロリーバス・立山高原バス・立山ケーブルカー〉 立山駅  〈富山地方
 鉄道〉 ゴール(電鉄富山駅)



<参加者の感想(抜粋)>

(1) 宇奈月温泉

- ・富山の方でもなかなか行けない場所を体験できるのは貴重、富山の魅力再発見の一助になれば大変うれしい
- ・黒部奥山(樺平～祖母谷)・宇奈月温泉・宇奈月麦酒館の魅力を余すことなく伝えられたのではないかと満足している

(2) 八尾

- ・(夕食の場所では)おわらの踊り手・地方(じかた)衆が揃った豪華な内容を、雑踏に紛れることなく目の前で堪能することが出来る秀逸な内容だったと思います
- ・おわら以外の時期も十分楽しめることを再発見できた。八尾の歴史的町並みは他ではなかなか味わえない魅力がある

(3) 五箇山

- ・富山に仕事で来た人等に、半日、1日、2日でお勧めの観光ルートを紹介できるこの企画は大変すばらしいと思う
- ・コンディションとメンバーにも恵まれ、これ以上ない企画だった。五箇山の魅力をもっと皆さんに伝えたいと感じた

(4) 大牧温泉

- ・好天に恵まれ、楽しい2日間でした。元気を取り戻しました
- ・富山の自然の雄大さや歴史など様々な魅力を発見できました。この体験を踏まえ、富山の魅力を私自身が発信していきたい

(5) 立山・称名滝

- ・紅葉を採勝する行程は好天に恵まれ、錦秋の雄大な立山を存分に味わう旅になりました
- ・天気も紅葉もすばらしかった。特に、弥陀ヶ原からの夕日はすごかった

(6) 立山：黒部ダム

- ・富山の魅力を再発見できたと同時に、1泊したことで参加された皆さんと交流できたことがよかった
- ・メンバーの皆さんと過ごすことで大変有意義な時間となりました
- ・長野県側からのルートの面白さがわかり、さらに楽しみ方の選択肢が広がった



健康経営の事例を学ぶ

— 第9回企業経営委員会 —

第9回企業経営委員会（伊勢徹委員長）を10月26日(火)、オークスカナルパークホテル富山で開催し、委員29名が参加した。

富山県健康対策室課長補佐 中田渉氏に健康経営に関する県の取組みについて説明いただいた後、健康経営に取り組む会員企業3者（(医)博仁会横田記念病院理事長 横田龍大氏、大高建設(株)取締役社長 大橋聡司氏、北陸電気工事(株)矢野茂氏）による事例発表を行った。



中田課長補佐

横田理事長からは、県や国の公的認証制度を「外圧的な強制力」として活用して取組みを強化していること、職員の年齢分布に着目した健診実施、退職したOB職員に対する継続的な医療支援など病院ならではの充実した施策に取り組んで



横田理事長
(オンライン登壇)

いることを紹介いただいた。

大橋社長からは、交通手段に限られる山奥での宿泊を伴う工事が多くあるため、健康経営に取り組まざるを得なかったとの取組経緯の説明の後、社員の健康管理のための専門部署の新設や働き方改革の推進など、大手建設会社に引けを取らない積極的な取組み内容を紹介いただいた。



大橋社長

矢野社長からは、「明るく、楽しく、元気よく働ける会社」を目指して、人間ドック休暇の新設をはじめとする休暇制度の充実、腰痛セミナーの開催、スマホアプリを活用したウォーキングイベントの定期開催など、様々な取組みを実施していると紹介いただいた。



矢野社長



フィールドワーク冊子、またまた大学での講義テキストに！

令和2年度(2020年度)・3年度(2021年度)に地域創生委員会が発行した、フィールドワークを題材とした冊子「富山の経済人が本気で考えて実際行ってみた！とやま半日観光コース」「同1日観光コース」が、富山大学経済学部特殊講座「地域観光資源の活用演習」テキストとして活用された。

「美しい富山湾クラブ」寄附講座として実施される本講義は、富山の観光資源を発信する戦略・戦術を学ぶことなどを目的として、外部講師による講義やグループ演習等で構成されるとともに、成果として学生が個々に観光リーフレットを作成するものである。

10月26日(火)、外部講師として山野昌道常任幹事（前期地域創生委員長）が、冊子の

作成経緯やコンセプト、込められた思いなどについて講演し「自分が魅力を感じないと人には勧められない。ぜひ、実際に行ってみることを通じ、若者の感性で富山の魅力を考えてほしい」とエールを送った。



山野常任幹事による講義



熱心にアドバイス

第83回あけぼの会ゴルフコンペ

— 優勝は市森友明氏 —

9月10日(土)、呉羽カントリークラブ日本海コースにて、第83回あけぼの会ゴルフコンペが開催され、76名のあけぼの会会員が熱戦を繰り広げた。

優勝の栄冠はネット71.2で市森友明氏（株新日本コンサルタント）が獲得、優勝賞品として、県内で活躍するガラス作家の作品（花器）が贈呈された。

また、麦野・塩井・牧田代表幹事からそれぞれ代表幹事賞の提供があり、麦野代表幹事賞は、窪田昌司氏（株エムエスサポート）が、塩井代

表幹事賞は塚田達也氏（株神戸製鋼所）が、牧田代表幹事賞は村尾于尹氏（株村尾地研）が受賞し、それぞれ富山県ゆかりのガラス作家による作品が贈られた。

懇親会が開催されなかった一方、爽やかな秋晴れの中でのプレイは、ひとときのリフレッシュとなり、各組では一層の親睦が深まったことが伺えた。

ラウンド終了後には秋開催恒例の「松茸」が参加賞として手渡され皆清々しい余韻とともに呉羽カントリーを後にした。



(敬称略)

順位	氏名	OUT	IN	GROSS	HDCP	NET
優勝	市森 友明	43	45	88	16.8	71.2
準優勝	木下 実	43	44	87	14.4	72.6
3位	尾城 敬郎	48	44	92	19.2	72.8
4位	棚田 一也	46	45	91	18.0	73.0
5位	島 小一	47	47	94	20.4	73.6

J2 復帰を祈って、熱い応援！

— 「同友会の日」カターレ富山戦 —

10月30日(日)、文化スポーツ委員会（島田好美委員長）は地元プロスポーツチームを応援する「同友会の日」を開催し、富山県総合運動公園陸上競技場でカターレ富山対今治FCの試合を観戦した。

当日は爽やかな秋晴れのもと、麦野代表幹事・塩井代表幹事をはじめ、会員や会員企業の従業員・ご家族など約90名が応援に駆けつけた。

カターレは、ホームで確実に勝利し、J2 復帰の夢をつなぎたいところ。必勝で臨んだ試合は激しく競り合い、両チーム2対2の同点



で前半を折り返し、後半リードしたいカターレだが、同31分に勝ち越し点を奪われその後、最後まで得点を奪い返すことができなかった。



J2昇格争いが大詰めを迎える中、カターレの勝利を願い、熱い応援を送り続けたが、痛恨の3連敗となり、5位から6位に順位を落とす結果となった。

今シーズンは残り3試合、悲願のJ2復帰へ向けて、今後の勝利に期待したい。

次回の「同友会の日」は、富山グラウジーズを観戦予定です。多くの皆様のご参加をお待ちしています。



未来を担う生徒たちへの熱いエール

— 課外授業講師派遣 —

第8回 高岡市立高陵中学校

令和4年9月2日(金)、高岡市立高陵中学校において、「14歳の挑戦」を目前に控えた2学年85名に対して、稲田祐治氏(加越能バス㈱相談役)、張田真氏(ハリタ金属㈱代表取締役)、開章夫氏(昭和建設㈱代表取締役)の3氏が、「働くことの意義、社会人としての心構え」をテーマに課外授業を行った。

<稲田 祐治 氏 加越能バス㈱相談役>

稲田相談役ははじめに、中学校時代を振り返り、将来の目標もなく、何となく勉強した結果、高校受験に失敗して浪人した。この経験が人生の中で一番辛かったが、この失敗から、将来自分がやりたいことを描きながら高校生活を送るようになったと語り、生徒たちに目標を持って努力することの大切さを説いた。そして、「人生はいいことばかりではない。悪いこともあるが、それを修正していくのは自分の力。自分の力と、支えてくれる家族の力を頼りにしながら、人生を送ってほしい」と語った。

次に、「働くことの意義」を生徒たちに問いかけ、「生活のためにはお金が必要だが、お金のためだけに働いては楽しくない。大切なのは、自分がやりたいことをやりながら、自分で「満足だな」と思えるような仕事に就いて、楽し

い家庭をつくり生活していくこと」と述べた。

最後に、「14歳の挑戦を通して今まで見えなかった会社の裏側が見える。働くことの素晴らしさを知ると同時に、大変さ、汚い部分も知ることになるが、これは全て社会のできごとであって、皆さんがいずれ出会うかもしれないこと。14歳の挑戦でいろんなことを感じ取ることができたら、その分だけ成長し、社会に一步近づいたことになる。自分事として、将来に備えて、あまり緊張せずに14歳の挑戦に挑んでほしい」とエールを送り授業を締めくくった。



<張田 真 氏 ハリタ金属㈱代表取締役>

張田代表ははじめに、「働く意義」は、他人が決めるものではなく、自分自身が人生の中で決めていくべきことだとしたうえで、自身の考える働く意義は、仕事を通じて、自分が幸せになり、そして人を幸せにしていくことだと紹介した。

そして「幸せになるには知識と技術が必要」とし、脳科学的な視点から、幸せになる方法を語った。

人間は本能で「変化は危険」と認識する。これは人類が誕生した頃からの本能。だが、ダーウィンの進化論では、唯一生き残ることができるのは変化をする生き物である。ではどうやって自分を変化させるか。それは言葉の力。人間は、目で見たり、人の話を聞いたりした入力情報よりも、自分の言葉で出力した情報が脳に7倍の影響を持つ。プラスの言葉を発すればそ

の影響を受けて、脳はプラス思考になっていく。自分の言葉遣いに気を付けることが大切である、と説いた。

また、日本は豊かなのに幸せを感じることができない人が多い。幸せはなるものではなく、感じるもの。日々の日常の中に小さな幸せを感じられるかどうか。これを知らずに延々と幸せを探して歩き回る人たちもいる。そうならないよう小さな幸せを感じる技術を身につけてもらいたいと述べた。

最後に、「将来社会人となった皆さんと仕事を通じて、共に人の幸せに寄与できることを楽しみにしている」と熱く語り授業を締めくくった。



<開 章夫 氏 昭和建設㈱代表取締役>

開代表ははじめに、働くこととは、人ができないことを自分が代わりにやってあげることであり、「人のため」が基本。人に必要とされるサービスや知識を提供し、対価としてお金をもらうこととした。

次に、やりたい仕事、目標の見つけ方について、井上靖氏の言葉「努力する人は希望を語り、怠ける人は不満を語る」を引用し、「文句を言う人ほど、努力をしていない人が多い。やりたいことを黙々とやっている人は文句を言う人が少なく、成功している。やりたいことを見つかるまでには時間がかかるが、やりたいことがわからなければいろんなことに挑戦してみるとよい。様々な人に会うことで、新しいことに興味を持ったり、人に教えてもらって初めて知る世界がある。皆さんは挑戦して失敗しても、やり

直すことができる。いろんなことに挑戦してほしい。」と語った。

続いて、どんな仕事に就こうと必要な能力がコミュニケーション能力であるとし、「自分で思っていることを人に伝えるのは意外と難しい。自分が伝えているつもりでも、実際に相手に伝わっているのが3割くらいと言われている。相手に自分の思っていることを伝える力を今のうちから大切にしてほしい」と述べた。

最後に、「皆さんは将来いろいろな仕事をするとと思うが、人のために役に立つ人になってほしい」と強調し授業を締めくくった。



第9回 富山市立山室中学校

令和4年9月7日(水)、牧田和樹氏(株)牧田組取締役社長)が富山市立山室中学校にて2学年188名を前に「よりよく生きる」をテーマに課外授業を行った。

牧田社長ははじめに、貨幣経済の中で活動している以上、お金がないと生活できず、お金を手に入れる手段は、①相手を見つけ、②相手の役に立つことをして対価を得る、これが世の中の原則であると説いた。

続けて、「会社もこれと同じで、顧客がいて、顧客に役立つサービスを提供しないと存続できない。14歳の挑戦で訪問する会社でもこの原則が成り立っているのだから、会社の客は誰で、客にどう役に立っているかを見てほしい。まだ将来やりたい仕事かわからないかもしれないが、この原則を見る目を養っておけば、就職先を考える時に役に立つ。」と語った。

次に、14歳の挑戦の心構えとして、挨拶の大切さを説いた。「人の第一印象は良い・悪いの

2つしかなく、絶対に相手に気に入られるコツは挨拶。挨拶は相手を認めること。14歳の挑戦時には相手にきちんと挨拶することで好感度が上がる。好感度が上がるといろいろと教えてもらえる。逆に、自分のことしか考えないと相手の印象が悪くなってしまう。人間には動物と違って心がある。人間社会の中でよりよく生きるためにはわがまを抑えて、相手のことを認めて思いやる必要がある。」と述べた。

最後に、「14歳の挑戦にあたっては、受入先と調整をしてくれた先生、そして受入先の会社の厚意があってこそ成り立っていることを心に刻み、実りある挑戦としてほしい」とエールを送り授業を締めくくった。



第10回 富山県立雄峰高等学校

令和4年9月14日(水)、牧田和樹氏(株)牧田組取締役社長)が富山県立雄峰高等学校にて3年次生約110名を前に「よりよく生きる」をテーマに課外授業を行った。

牧田社長ははじめに、「生きていくためにはお金が必要で、そのためには働かなければならない。今まで生きてきた何倍もの時間働かなければならない。これから働くということはイコール、未来をつくるということである」と語った。

次に、働き方には正規雇用と非正規雇用の2つがあると説明したうえで、「アルバイトで生きていけると思うかもしれないが、アルバイトのスキルだけで60歳まで働くことは難しい。正規雇用だと、会社は長く働いてもらうため人材育成を行う。様々な仕事を経験し、スキルを身に付けると、それに伴い給料が上がる。アルバイトではなく、正規雇用で働くことが一番未来をつくりやすい」と就職試験を控える生徒たち

に正規雇用の利点を語った。

そして、「過去と現在は変えられないが、いい結果が出る原因を今つくれば、未来は良くなる。君たちの未来は君たち自身がつくる。苦手なことに挑戦し、できるように努力する、頑張る気持ちを持つことが未来を変える第一歩だ」と説いた。

最後に、働くうえで人間関係の大切さを説明し、「社会に出ると人間関係が大きく広がる。人間関係を築くには、自分のわがまを抑え、相手に「思いやり」を持って接することが基本。思いやりを持って人間関係をつくってほしい。そうすることで明るい未来が拓ける」と熱く語って授業を締めくくった。



第11回 富山県立魚津高等学校

令和4年9月24日(土)、遊道義則氏(株)ユニオンランチ取締役社長)が富山県立魚津高等学校にて1学年161名を前に「生きるということ～人生って何なんだろう～」をテーマに課外授業を行った。

遊道社長ははじめに、「言葉」の不思議さ・大切さについて触れ、人間は自分の言葉を統御しているつもりで、実は言葉に統御されているのだと説明し、例えば、将来の目標を話すときに「〇〇になれば」や「〇〇になりたい」ではなく、「〇〇になる」と言い切るなど、意図的に言葉を選んで発することが大切であると説いた。

次に、選択の連続である人生において、起こってしまった出来事や過ぎてしまった時間は絶対に元には戻らないが、そのことをずっと引きずっていても辛くなってしまうだけなので、前向きな「意味付け」をする習慣を努力によって身に付けることが重要であると語った。

続けて、人間は変化を嫌うが、その抵抗を恐

れていては成長できない、積極的に変化(成長)することが大切であると説いたうえで、「卑下、現状の満足、自意識過剰、傲然さは自身の成長を妨げてしまうので、自分の可能性を信じ、今の自分に満足せずいろいろな事にトライをして、いろいろな選択肢をつくってほしい。経験から大きなものを得られるので、必要なことは何事でもすぐに「やる」、言い訳や先送りをせずに、できるまで「やる」べき」と行動することの大切さを強調した。

最後に、「自分の人生は誰も何もしてくれない。自分が自分の人生をどう生きるかが大事。腹をくくって、自分の人生を生きて欲しい」と激励し授業を終えた。



第12回 富山県立小杉高等学校

令和4年10月12日(水)、浦山哲郎氏(学浦山学園理事長)が富山県立小杉高等学校にて1学年159名を前に「Crossroads」をテーマに課外授業を行った。

浦山理事長は、はじめに、社会に出るために必要な能力として、基礎学力などの認知能力のほかに、思考力・表現力・判断力などの非認知能力を身に付けることの重要性を説いた。そして、自身のキャリアにおける人生の岐路Crossroadsを紹介しながら、どのようにして非認知能力を高めていくかを語った。

浦山理事長の1回目の岐路は学生時代の米国留学。きっかけは、外国人客の多いアルバイト先で、外国人客から日本に関する様々な質問があり、なぜ外国人がこれほど日本に興味を持つのか疑問に思ったことだった。次に訪れた2回目の岐路、就職時には、日本を世界に紹介したいという夢を持ってホテル業界に就職し、国際部門で勤務した。その後、アメリカの先進的な人

材育成に触れた経験から、人材育成を志すようになり、会社を退職し浦山学園に入職したのが3回目の岐路。岐路に立った時、夢や希望を持っていたからこそ日々努力をすることができたと述べた。

そして、様々なCrossroadsを経て、人々の出会いから生まれた感謝や思いやりの気持ちが、夢や希望に繋がり、夢や希望を持つことで、思考力・表現力・判断力が培われていったと語った。

最後に、福沢諭吉の言葉「上手な役者が乞食になることもあれば、大根役者が殿様になることもある。とかく、あまり人生を重く見ず、捨て身になって何事も一心になすべし」を紹介し、「今この時にできる全力を果たしてほしい」とエールを送り授業を締めくくった。



頼まれごととは試されごと、期待されていること

牧田代表幹事 富山市若手職員研修で講演

令和4年9月15日(木)・16日(金)、牧田和樹代表幹事は富山市役所入庁3年目の若手職員86名を対象とした研修「一般職員第1部研修」において「成長を目指して-頼まれごととは試されごと-」と題して講演を行った。

(研修は受講者を2組に分割して実施)

牧田代表幹事はまず、代表や役員として現在務めている、あるいは過去に務めた組織を列挙し、なぜ多数の組織に関ってきたかについて「これらはなりたくてなれるものではなく、周囲からの支持が必要。これは公務員という公益的業態でも同様であり、周囲から認められる職員となってほしい」とし、適任者として認められることの重要性を強調した。続けて、市職員として提供する労働と報酬・提供するサービス、サービスと市民が納める税金・職員が受け取る報酬はそれぞれ等価であるとし「人口減を背景とした税収減少など、行政運営は今後さらに厳しくなると見込まれる。市職員の皆さんの労働とそれに伴う市民サービスの質を向上させていくことが大変重要である」と訴えた。

次に、社会では正解のある問題は皆無であり、

社会は問題に溢れているとし「正解の無い問題と向き合うには①現実認識→②事実認識→③真実認識→④具体/顕在化→⑤創造的融合の“創造的課題解決アプローチ”が不可欠である。⑤創造的融合とは、互いの意図を概ね満足させられる方法を作り出すことであり、これには洞察力が必要である」と強調した。さらに「洞察力は“広く・遠く・深く”物事を見る・考える力であり、これを養うには①静的情報からの客観的洞察、②動的情報からの主観的洞察の要素が必要。特に、主観的洞察の養成に不可欠な人脈形成は大変重要である」と説いた。

最後に、人間社会とは“人と人との間が存在する社会”であり、人間関係は「興味→好意→共感→信頼→尊敬と発展するプロセスの理解が重要であるとし「まずは、相手のことを考え合わせていく“共感”を目指すことが大事。他人からの頼まれごととは試されごとであり、期待されていること。頼まれごとを受諾し、結果を出し評価されることの繰り返しにより人間力が向上する。これが成長の根本であり、必要なものが人脈形成である」とエールを送り、講演を締めくくった。





私の「モノづくり」の原点とこれから

森 弘 吉

(株式会社エムダイヤ 代表取締役)

私は1975年に富山県上市町で生まれました。私が3歳の時に脱サラをした父は、機械修理業を主体とした、鉄工所を創業しました。

父の工場は、自宅の敷地内にありましたので、幼いころの遊び場の一つでした。鋼材や様々な工具有り、それを見たり触ったりするのが楽しかったことを覚えています。

物心がついた頃には、自分専用の工具箱を持っていて、色々な物を分解し、構造を確かめる事が大好きでした。買ってもらった玩具は、中身を解体して楽しみました。しかし、元に戻せず壊すため、両親に怒られた事が良い思い出になっています。

そんな私を見ていた父は、私が6歳のある日、「この車（セダン）は、廃車にするから、好きに解体していいぞ」と言い出しました。自身の工具箱の道具を使って、解体に取り掛かると、ドアの横についたスピーカーが紙製だった事や、電球の取り付け方や、配線が分かるなど、様々な発見をすることが出来ました。

新卒で、石川県の大手工作機械メーカーへ就職しました。会社では、電気設計や機械開発、IT分野まで様々な経験をさせていただきました。

石川県で就職して5年が経過した頃、父の会社が立ち行かなくなりました。父は根っからの職人でしたので、経営は不得手でした。私は、父と二次創業という形で会社を作ろうと、6年半お世話になった会社に退職の意思を伝えました。

富山に戻り、父が経営していた時に開発した、環境機械の技術や製品をさらに発展させて社会に貢献したいと思い、二次創業しました。いざ会社経営となれば、多くの衝突があり、大変険しい道のりでした。職人氣質で、発明家のような父の技術力は尊敬していましたが、経営や

事業に関する考え方は、相容れないものがありました。最終的には、父とは袂を分かつ事となりました。また、父に賛同していた年配社員も次々に去って行きました。

私自身も様々な「学び」と「経験」を通じて、「職人」から「商人」へと変化せざるを得ない状況となって行きました。

今となっては、父も良き理解者となって応援してくれています。社長になって15年。様々な困難を乗り越えて会社は大きく変化しました。

現在、北は北海道から南は鹿児島まで、日本全国そして海外にも製品を納品しています。2022年の今年、公的機関である名古屋中小企業投資育成(株)からの出資を受ける形で、財務基盤の強化と信用力向上を進めました。また、環境機械の製造・販売における「モノづくり」のみならず、新工場（立山工場）を建設し、リサイクル業やリサイクル仲介業といった、「コトづくり」事業拠点を立ち上げ中です。

さて、私が楽しいと思う事は、仕事を通じた「気づき」や「学び」であり、異質に触れる事には、常にワクワクします。

コロナ以前は全国をかけ回り、2ヶ月に1度は仕事で海外に行っていました。様々な経験は、自分を大きく成長させてくれます。今年に入ってから、ようやく海外にも行けるようになって来ました。

想定外な事や異質に触れる事、様々な「経験」を通して、自己成長に繋がりたいと思います。

これからも-「もったいない！」をカタチに[®]-を合言葉に、環境事業を通じて、社員と共に成長・発展出来る会社を目指します。

(次号は(株)タムラ設計. 代表取締役の
田村元宏 様です。)

活動報告

9月1日～10月31日

○幹事会・定例会等

開催日時・場所	内 容	出席者
10月18日(火) 16:30～20:10 ホテルニューオータニ 高岡	10月幹事会・会員定例会（教育問題委員会主管） 講師：(株)ニッセイ基礎研究所 人口動態シニアリサーチャー 天野 馨南子 氏 演題：「データで読み解く「富山の人口問題」 ～なぜ企業経営者が鍵を握るのか～」	約140名 (オンライン) 視聴含む

○委員会

開催日時・場所	委員会名	内 容	出席者
9月1日(木) 11:30～13:00 事務局会議室	人財活躍委員会 第9回正副委員長会議	<ul style="list-style-type: none"> アンケート調査結果（外国人材の就労支援） 留学生との交流イベントの方向性 副業兼業人材の活用推進セミナー(案) 2023年3月定例会について 提言の方向性について 	10名
9月6日(火) 16:30～18:00 ホテルグランテラス 富山	第11回地域創生委員会	講演会 講師 沖縄市企画部長兼プロジェクト推進室長 山内 強 氏 演題 1万人規模のアリーナ整備事業とプロフィット化に向けた取り組み	63名
9月8日(木) 16:30～19:30 日本料理俵屋	企画委員会	第2回委員長連絡会議	6名
9月9日(金) 14:00～15:30 事務局会議室	第2回交流委員会	<ul style="list-style-type: none"> 海外視察時の感染症対策ガイドラインについて 国内視察時の感染症対策ガイドラインの検討等 	12名
9月14日(水) 8:50～19:10 高岡市	企業経営委員会	第11回ごきげんよう職場訪問（県内） (株)能作、日本総合リサイクル(株)、 BBS ジャパン(株)	21名
9月15日(木) 11:00～12:45 事務局会議室	文化スポーツ委員会 第10回正副委員長会議	<ul style="list-style-type: none"> アスリート支援小委員会について 2022年度後半の活動について 	9名
9月25日(日)～26日(月) 黒部ダム他	第7回文化スポーツ委員会	フォッサマグナミュージアム、 黒部ダム見学、弥陀ヶ原散策 講師 元関西電力(株)黒部川電力システムセンター所長 米沢 出穂 氏 演題 「世紀の大工事 クロヨン建設その歴史」	17名
9月28日(水) 17:00～17:45	第3回交流委員会	国内視察時の感染症対策ガイドラインの改定について（オンライン）	12名
9月29日(木) 17:00～20:10 オックスカナルパーク ホテル富山	第6回人財活躍委員会	副業・兼業人材の活用推進セミナー <ul style="list-style-type: none"> 副業・兼業人材の活用のポイントについて 講師：(株)みらいワークス 執行役員 高橋 寛 氏 県内企業の好事例紹介 ①日の出屋製菓産業(株) 川合 洋平 氏 ②三耐保温(株) 土居 りょう子 氏 富山県の副業・兼業推進に向けた取り組みについて 講師：富山県商工労働部 山口 祐輔 氏 	64名 (オンライン) 視聴含む

開催日時・場所	委員会名	内 容	出席者
9月29日(木)～ 10月1日(土) 青森県・大阪府	第6回教育問題委員会	青森・大阪視察 ・おしごと体験広場キッズハローワーク ・関西経済同友会 ・関西キャリア教育支援協議会 ・大阪府教育庁／大阪市教育委員会	委員6名 教員5名
10月4日(火)～5日(水) 黒部ダム他	第12回地域創生委員会	フィールドワーク（黒部ダム視察）	6名
10月14日(金)～15日(土)	第13回地域創生委員会	フィールドワーク (富山県内一泊二日観光プラン)	23名
10月19日(水) 16:30～20:00 日本料理俵屋	第1回企画委員会	委員会再編の方向性	6名
10月22日(土) 13:00～17:00 富山大学	人財活躍委員会	起業家支援事業 「スケッチオーデション Day1」 ※ Day8（2023年3月）まで開催	
10月26日(水) 17:00～20:10 オークスカナルパーク ホテル富山	第9回企業経営委員会	健康経営に関する制度紹介 ・富山県厚生部健康対策室健康課 課長補佐 中田 渉 氏 健康経営取組事例発表 ・医療法人財団博仁会横田記念病院 理事長 横田 龍大 氏 ・大高建設(株) 取締役社長 大橋 聡司 氏 ・北陸電気工事(株) 取締役社長 矢野 茂 氏	29名

○課外授業講師派遣

開催日時	学 校	対 象	講師・演題
9月2日(金)	高岡市立高陵中学校	2学年85名	稲田 祐治 氏、張田 真 氏、開 章夫 氏 テーマ「働くことの意義」「社会人としての心構え」
9月7日(水)	富山市立山室中学校	2学年188名	牧田 和樹 氏 「よりよく生きる」
9月14日(水)	富山県立雄峰高等学校	3学年110名	牧田 和樹 氏 「よりよく生きる」
9月24日(土)	富山県立魚津高等学校	1学年161名	遊道 義則 氏 「生きるということ～人生って何なんだろう～」
10月12日(水)	富山県立小杉高等学校	1学年159名	浦山 哲郎 氏 「Crossroads」

○同友会諸会合

開催日	内 容	場 所	出席者
9月8日(木) ～9日(金)	2022年度「全国経済同友会事務局長会議」	岩手県盛岡市	有藤事務局長
10月3日(月)	第30回経済同友会中央日本地区会議 (福井経済同友会主管)	福井県あわら市	8名

○その他の会合

開催日	内 容	場 所	出席者
9月3日(土)	新「富山新聞高岡会館」開館記念式典	富山新聞高岡会館	牧田代表幹事
9月10日(土)	第83回あけぼの会	呉羽カントリー クラブ	76名

開催日	内 容	場 所	出席者
9月15日(木) ～16日(金)	富山市一般職員第I部研修（講師）	富山市役所	牧田代表幹事
10月5日(水)	第18回富山県安全なまちづくり推進大会 第29回全国地域安全運動富山県民大会	富山県教育文化 会館	麦野代表幹事
10月7日(金)	令和4年度第2回とやまスタートアップ戦略 会議	オンライン	麦野代表幹事
10月14日(金)	NHK 新富山放送会館 開館記念祝賀会・内覧会	ANA クラウン プラザホテル富山 NHK 富山放送会館	麦野代表幹事
10月16日(日)	梅田ひろ美氏旭日双光章受章記念交流会	富山電気 ビルディング	麦野代表幹事
10月19日(水)	金融経済懇談会	ANA クラウン プラザホテル富山	麦野代表幹事
10月24日(月)	富山県・オレゴン州友好提携30周年記念祝賀会	ANA クラウン プラザホテル富山	麦野代表幹事 塩井代表幹事
10月26日(水)	富山大学経済学部特殊講義 「地域観光資源の活用演習」（講師）	富山大学	山野常任幹事
10月28日(金)	SCOP TOYAMA 開所式	SCOP TOYAMA 敷地内	麦野代表幹事
10月30日(日)	「同友会の日」カターレ富山応援	富山県総合運動 公園陸上競技場	約90名
10月31日(月)	(公社) 富山青年会議所 創立70周年記念式典・祝賀会	富山国際会議場 ANA クラウン プラザホテル富山	塩井代表幹事 牧田代表幹事

会 員 の 入 退 会

(10月幹事会)

1. 最近思うこと（社業についての抱負や最近の政治・経済・社会情勢等についての考えなど）
2. 生活信条（座右の銘等）
3. 趣味

入 会



まえ だ たく や
前 田 拓 矢
(株)前田瓦工事店
代表取締役
(紹介者:尾山謙二郎氏)

1. 地域経済が多様に変化し続ける中において、企業の未来はリーダーシップを取る経営者の意識に左右されると感じます。各先輩方から学び、更なる発展に繋げていきたいです。
2. 善の巡環を心掛けております。
3. 読書

交 代



かしわ ぎ じ ろう
柏 木 二 郎
(株)商工組合中央金庫
富山支店長兼高岡支店長
(前:鈴木庸寛氏)

1. 大きく且つスピードを増す経済変化の中で、富山県内の皆様がサステナブルな経営を構築し、ウェルビーイングを体感できるようにサポートを邁進してまいります。
2. 座右の銘「死にゃあせん」。軽く聞こえますが、難題も工夫等で乗り切れるという思いを込めて。
3. 街歩き、温泉サウナ巡り、ゴルフ

交代



くろ たに さとる
黒谷 暁
黒谷(株)
代表取締役
(前：黒谷純久氏)

1. 資源の少ない国で金属資源の有効利用を透明性の高いところで行うことで社会貢献していきたい。
2. 勇猛果敢
3. ゴルフ



だい もん よし ゆき
大門 督 幸
伏木海陸運送(株)
取締役社長
(前：川西邦夫氏)

1. コロナ禍、円安、物価上昇など先行き不透明な経済環境下にあるが、足下をしっかりと見つめ、愚直に、誠実に利他の心をもって企業経営と地域貢献にあたりたい。
2. 楽観的に構想し悲観的に計画し楽観的に実行する。
3. 読書とゴルフ



まえ だ のぶ ひろ
前田 展 宏
富山フューチャー開発(株)
常務取締役
(前：角内康彦氏)

1. ①抱負：フューチャーシティファボーレを日本一親切的なSCにする。また従業員の物心両面の幸福を追求すること。
②最近の思い：変化に対応しご奉仕し続けること。
2. おかげさまで。ありがとう。
感謝の心でご奉仕をする。
3. ドライブとへたなゴルフ



まつ だ たつ ひこ
松田 竜 彦
ファインネクス(株)
代表取締役
(前：松田 登氏)

1. 乱気流の時代、力強く輝き続ける会社づくりを目指しています。
2. 雑草魂。努力が報われる世の中を実現する。幸せに生きる。幸せをもたらせる人間になる。
3. 旅行、読書、セミナー参加、ジム、水泳

所属企業変更

稲垣 貴彦 氏
若鶴酒造(株) 取締役
→ GRN(株) 常務取締役

小杉 康夫 氏
GRN(株) 専務取締役
→ 若鶴酒造(株) 代表取締役

退会

金子 政史 佐藤工業(株) 顧問
溝口 道晴 日本通運(株) 北陸東支店長
八嶋 祐太郎 八嶋(名) 会長
(令和4年10月18日現在 **会員数424名**)

哀悼



当会特別幹事の稲葉 実 氏(株三四五建築研究所 主宰)は令和4年10月4日ご逝去されました。享年83歳。

50周年記念事業委員長をお務めいただきなど当会事業の運営にご尽力いただきました。
心からご冥福をお祈り申し上げます。

拡がる「データサイエンス活用」の実践 ～ 会員所属企業における取組（会員寄稿）～

地域創生委員会では「データサイエンス活用」を活動テーマのひとつとして設定し活動に取り組んでおり、会員所属企業においてもその実践が拡がりを見せつつある。今回は、富山大学データサイエンス寄附講座に参画されている㈱アイベック代表取締役 東出悦子氏より、事業概要などについて寄稿いただいた。



はじめに

富山大学では2021年4月からデータサイエンス教育と研究を目的としたデータサイエンス寄附講座を開設しました。アイベックは本寄附講座に初年度から参画しデータを提供しています。

取組概要

- ・学生は、企業が保持する生のデータを利用して統計学やデータサイエンスの基礎を学ぶ
- ・企業が保持する生のデータを活用して地域課題を解決する商品やサービスを大学と企業が連携して創出する

参画の目的

- ・企業が保持するデータを利活用して新規ビジネスを創出する
- ・学生と教授との接点を持ち、リクルート活動に活かす

背景

アイベックは、社会インフラの維持管理のために、橋梁やトンネル等の点検・調査を行っています。点検・調査はまるで人間の健康診断のように、定期的に行われます。しかし、社会インフラの老朽化は加速的に進み、5年ごとの定期点検では安全・安心が確保できなくなる可能性が高くなっています。この課題から、人間がウェアラブルウォッチをつけて、自身の健康状態を常時観測して未病を見つけるように、橋梁などの構造物もいたるところにセンサーをつけて常時観測することの必要

性を感じました。そこで2017年にIoT開発部を立ち上げ、構造物の性能低下や破壊などの事象を遅滞なく察知する仕組みを構築しました。

構造物の維持管理は様々なデータが必要になりますが、その中でも重要なものが、大型・小型車両の交通量です。ライフサイクルコストを考えた予防保全やSDGsを含めた都市計画のための基本データになります。そこでAIカメラを駆使した交通量の無人調査の仕組みを構築しました。将来的には、構造物のデータ、交通量のデータ、気象データなどを掛け合わせるにより、構造物の維持管理計画、都市計画などに寄与すると考えており、本寄附講座によって、これらのデータを活用する新規ビジネスの構築を目指しています。

効果

一年半で教授と学生たちのチームがこれらのデータを活用して学会で論文を複数発表しました。教授の指導による高度な分析もありますが、机上だけでは到達できない現場での汗をかく作業もあり、データサイエンスビジネスの泥臭い部分もよく理解できました。教授の発想や知識、学生たちの実行力で弊社だけではできない新しい挑戦ができています。

また教授と担当の学生たちが会社を訪問してくださり、社員との交流、業務の紹介などをする機会も頂きました。今後の新卒採用にも期待したいと思います。

●富山大学 担当チームによる論文発表事例 (第19回 ITS シンポジウム2021)

AIカメラで取得した交通データを用いた道路インフラの荷重評価の検討
公営競技場の周辺道路における交通量と外部要因との関連性の考察
駅前駐輪場の混雑評価と外部要因との関係性の考察

(2022年度電気・情報関係学会北陸支部連合大会) 総合型都市公園における駐車場利用の実態調査

慶事のお知らせ

おめでとうございます

令和4年秋の叙勲、褒章において、当会会員が晴れの栄誉を受けられました。
心からお喜び申し上げますとともに、今後ますますのご健勝とご活躍を祈念いたします。

旭日小綬章



高田 順一 氏
阪神化成工業(株)
取締役会長
当会幹事

黄綬褒章



久郷 慎治 氏
株久郷一樹園
代表取締役
当会特別幹事

今後の予定

開催日	対象	行事	場所
11月24日(木) ～25日(金)	全会員	第13回日本海沿岸地域経済同友会代表幹事 サミット	ホテルニューオータニ鳥取 (鳥取県経済同友会主管)
12月8日(木)	全会員	海外経済視察報告会・年末会員定例会・懇親会 講師：(株)鹿島アントラーズ FC 代表取締役社長 (株)メルカリ取締役会長 小泉 文明 氏	ホテルグランテラス富山
1月12日(木)	幹事	新年幹事会・富山県知事との昼食会	富山電気ビルディング
1月24日(火)	全会員	1月会員定例会 講師：(株)日本M&Aセンター 代表取締役社長 三宅 卓 氏	オークスカナルパーク ホテル富山
3月6日(月)	幹事	3月幹事会	富山電気ビルディング
3月6日(月)	全会員	3月会員定例会 講師：(株)プロノバ 代表取締役社長 岡島 悦子 氏	富山電気ビルディング
4月11日(火)	幹事	4月幹事会	富山電気ビルディング
4月26日(水)	全会員	2023年度定時総会・懇親会	A N Aクラウンプラザ ホテル富山

※新型コロナウイルス感染状況により、変更となる場合がございますのでご了承願います。

事務局からのお知らせ

<富山経済同友会事務局メンバー交代> 主席経済交流員(富山市) 泉田 将孝 → 吉川 賢一(2022.10.1付)
引き続き今後ともよろしくお願い申し上げます。

〔表紙写真〕

第6回教育問題委員会(青森・大阪視察)

弘前市の津軽藩ねぶた村にて記念撮影。視察
に参加した教員とも親睦が深まり、大変充実
した視察となった。

発行所

富山経済同友会

富山市牛島新町5番5号 インテックビル4階

電話 (076) 444-0660

F A X (076) 444-0661

e-mail: doyukai@po.hitwave.or.jp

https://www.doyukai.org/



パークレーシェアハウスでの親子ツーショット（1977年6月）



カリフォルニアの青い空に憧れて 一父との再結へ

日の出屋製菓産業株式会社 取締役会長兼社長

川合 声一

北陸富山のあられかきもち屋の三代目長男として生まれ、周囲からは後継ぎとして何不自由なく育てられました。いよいよ、大学も卒業まで一年となったころ、このまま決まったレールの上を走るといのは嫌、暗くて重い鉛色の北陸の空が嫌、ならば、カリフォルニアの青い空の下、自由にやりたいことをしたいという想いが湧いてきて、ちょうど、アメリカ建国200年だからと理由をつけて、父親に2年間の約束でカリフォルニアの小さなビジネスカレッジに留学（遊学?）。ぜひアメリカ人と生活体験したいとの思いでアメリカ人4人と一軒家をハウスシェアして共同生活を始めました。エレンは州森林局のカメラウーマン、ジュディスは子供病院の看護婦、ジョンは無名の映画脚本家それにエレンのボーイフレンド・マイケルでフリーのカーペンター。皆個性的なハウスメイトで彼らにとっても初めて外国人それも日本人とのシェアハウス共同生活。互いがどれだけアクセク

ブルできるか？私にとっても貴重な体験でした。彼らとの生活において評価されるパフォーマンスが必要と思い、夕食当番の時に出す料理を日本食的な、ライス料理としました。「今日の料理」テキストを送ってもらい、進んで料理の番を引き受けました。セイイチの料理はおいしいとほめてくれました。

福光の方では父親祖母はじめどのような生活をしているのか？気になり父がパークレーのシェアハウスを尋ねてきました。（写真はエレンが撮ってくれた親子のツーショット）

やがて約束の2年？余りが経ち、一度も帰国したことのない私の今後について重くるしい雰囲気の中での話になり、父から「長男である自分は病弱の父母をおいて、志願して入隊した、親不孝だった」とぼつりとぼつりと当時の思いを語り始めました。それから3か月後、サンフランシスコ空港で友人たちに見送られ北陸の曇天の下に帰ることになりました。